

除菌資料 2

《殺菌力効果の持続力を試験で実証》

試験方法：(財団法人 食品薬品安全センター 秦野研究所 環-151号)

シャーレに大腸菌・黄色ブドウ球菌・サルモネラ菌・MRSAをそれぞれ培養した後、本品をスプレーし、その場所の菌がその後どのような状態になっているかを調べる。

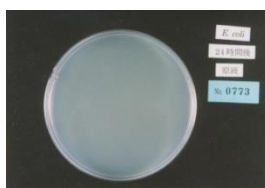
本品をスプレー後、24時間経過しても菌を持続して抑制することが確認出来ました。

●大腸菌：Escherichia coli ATCC 8739

人や動物の大腸に常に存在している菌です。排泄などが原因でトイレや食品・公園の砂場等比較的どこにでもいる良く知られている菌です。



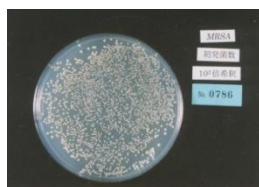
初発菌 E.coli



24時間後

●薬剤耐性菌の黄色ブドウ球菌

黄色ブドウ球菌本来の病原菌に加えて、メチシリン等の抗生物質に対して耐久性を持った菌です。



初発菌 MRSA

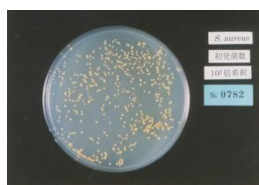


24時間後

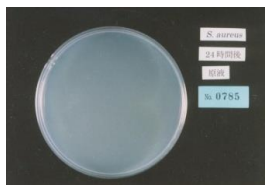
●黄色ブドウ球菌：Staphylococcus aureus ATCC 6538

人や動物の皮膚や皮脂線・粘膜に生息しています。汗や衣類など様々なものを餌にして増えていきます。私達の身近に沢山いる菌です。

しかし体が弱っている人の体内に入ると化膿性の疾患を起こしたり、皮膚の表面に感染すると皮膚炎を起こしたりします。



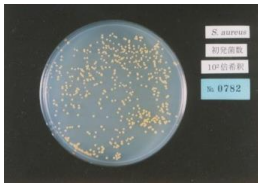
初発菌 S.aureus



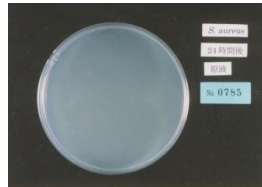
24時間後

●サルモネラ菌 : **Salmonella enteritidis** NIHS

食中毒の菌としては、最もポピュラーなものです。家畜の腸管内に生息し食肉や卵に汚染し、人の口に入り食中毒を引き起こします。



初発菌 S.enteritidis



24 時間後